

Digital Process Innovation

spGauge

2021.1 機能紹介 (2021年1月)

株式会社 アルモニコス



- 新機能 -

1. 3Dローカル座標

- ① 穴
- ② ポイント
- ③ GD&T

2. 検査しきい値範囲表示

- ① 穴
- ② ポイント
- ③ 溶接打点

3. マクロ-自動 アイコン化

4. リアルタイム誤差表示

5. ポイント検査 最大最小注記表示

6. ポイント検査 ミラー

7. グローバルフィットの拡張

- その他 -

◇ ガイドダイアログ

◇ 改善項目

操作レスポンス向上 など

◇ 不具合修正

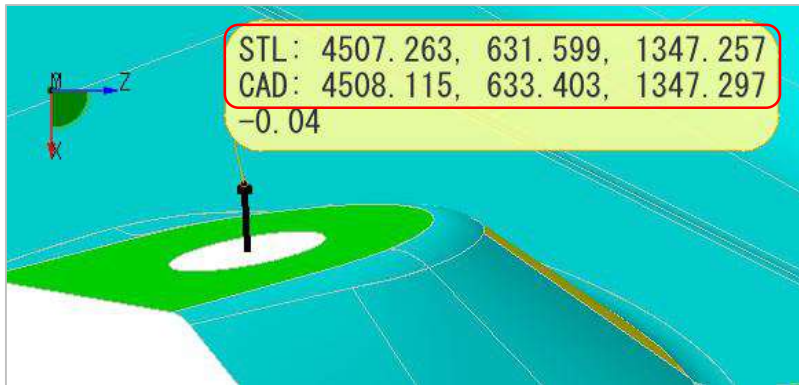
◇ コマンドログについて

1. 3Dローカル座標 穴検査

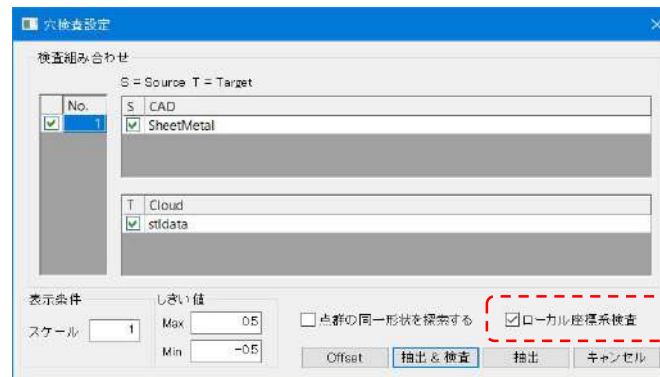
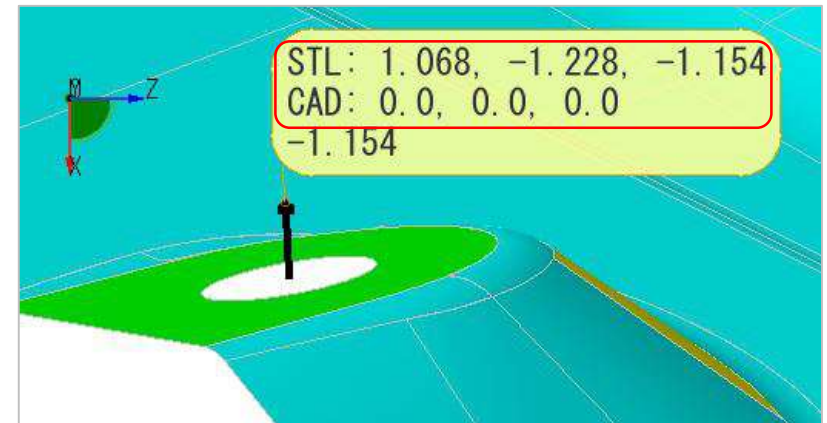
各穴中心軸の法線をZ軸とし、各穴の水平方向でグローバルXY軸方向に近い方向、水平方向をXY軸として検査できるようになりました。

関連メニュー **[検査]-[穴]-[設定&検査]**

グローバル座標系検査



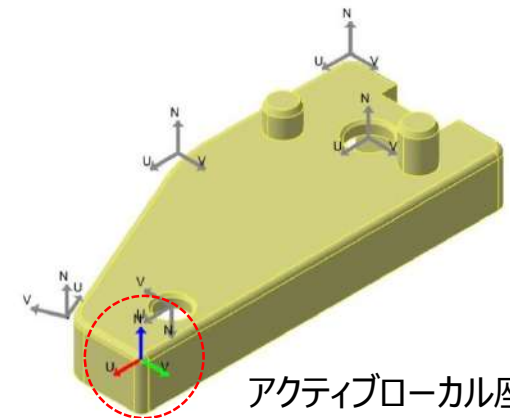
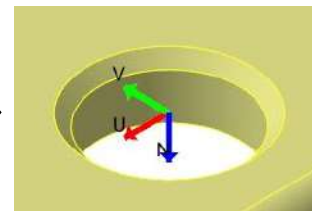
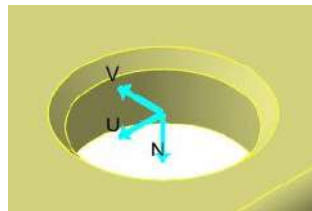
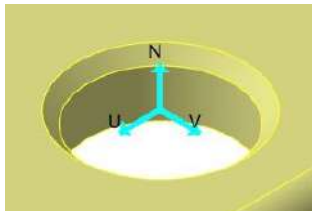
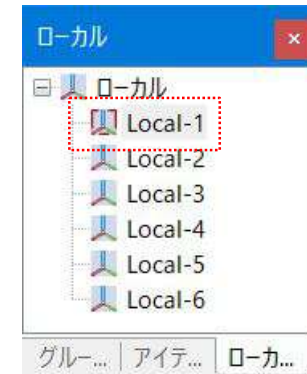
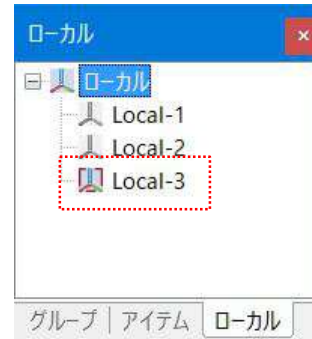
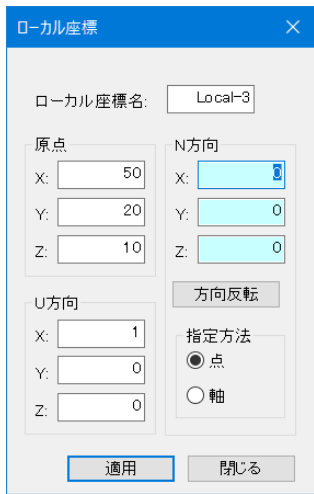
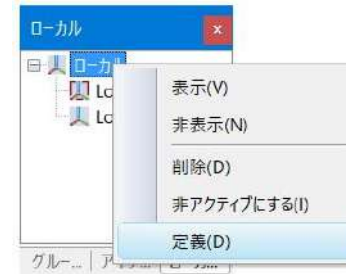
ローカル座標系検査



1. 3Dローカル座標 ポイント検査, GD&T

3Dローカル座標を複数定義できるようになりました。

ツリー [ローカル]-[定義]



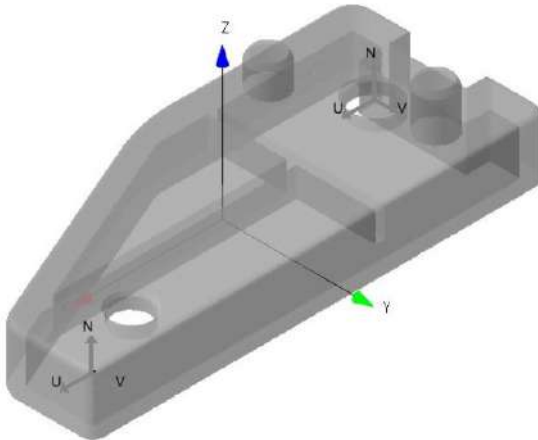
アクティブローカル座標

1. 3Dローカル座標 ポイント検査

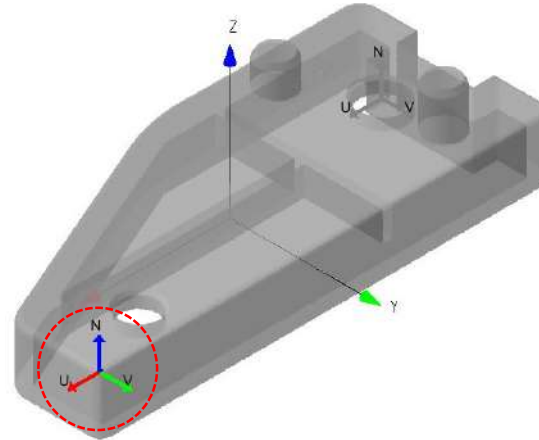
3Dローカル座標を複数定義し、ローカル座標系でポイント検査できるようになりました。

関連メニュー **[検査]-[ポイント]-[設定&検査]**

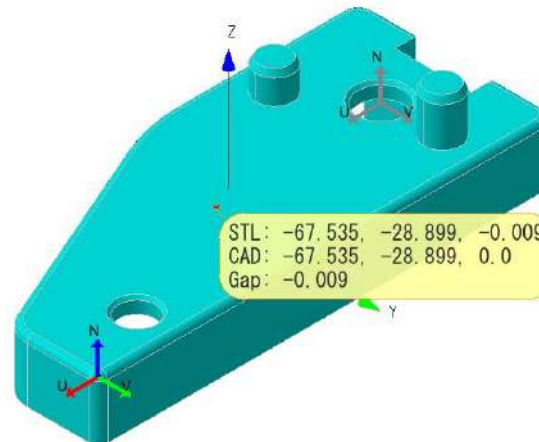
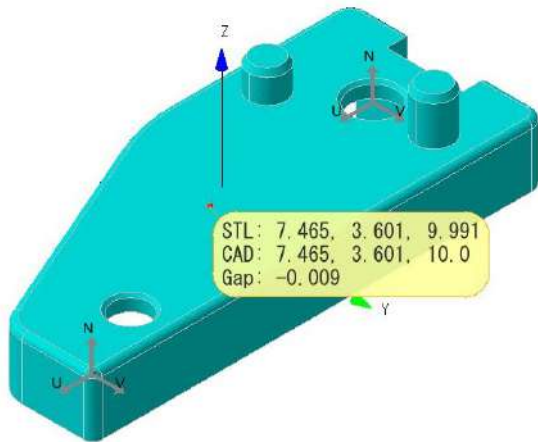
グローバル座標系検査



ローカル座標系検査



Local-1: アクティブ



P-1: ローカル検査
P-2: グローバル検査

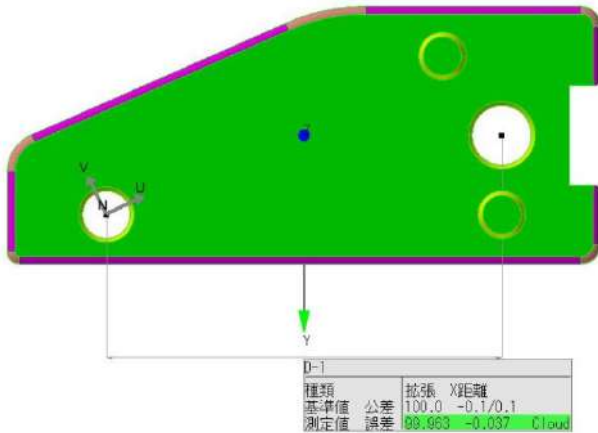


1. 3Dローカル座標 GD&T

3Dローカル座標を複数定義し、ローカル座標系でGD&T寸法検査できるようになりました。

関連メニュー **[検査]-[GD&T]-[寸法公差]-[定義]**

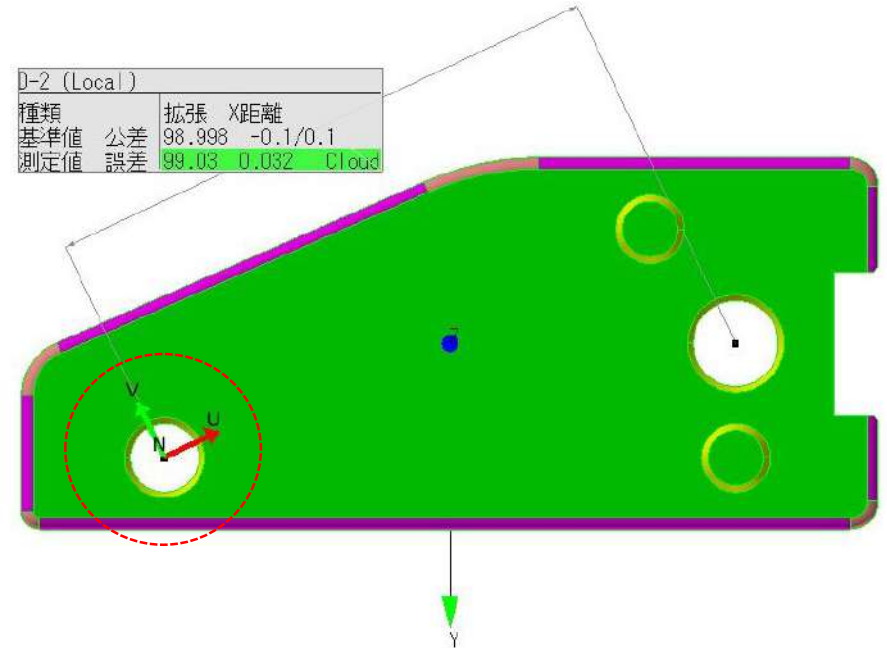
グローバル座標系検査



D-1: グローバル検査
D-2: ローカル検査



ローカル座標系検査

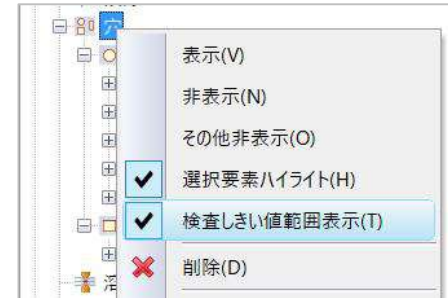


GD&Tの寸法公差定義の検査方向が、アクティブなローカル座標の方向に定義されます。

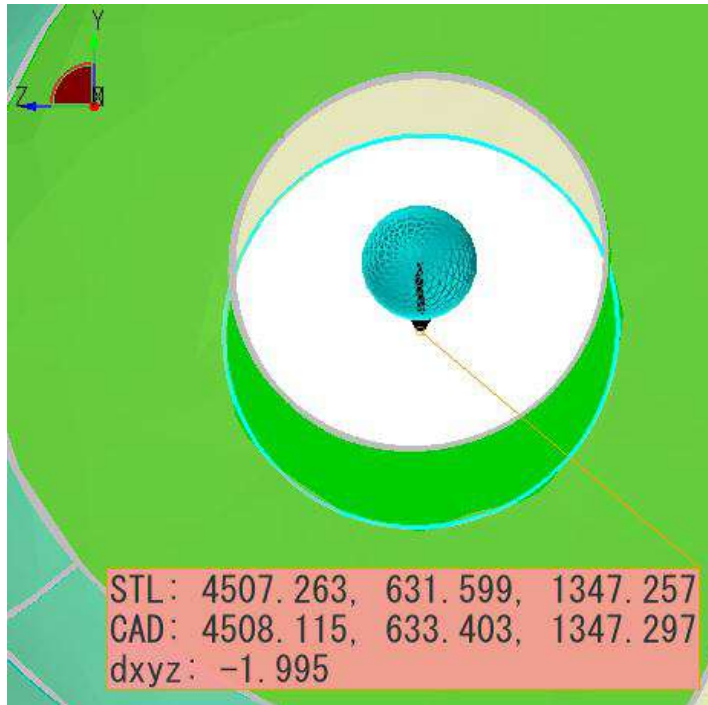
2. 検査しきい値範囲表示 穴検査

穴中心のしきい値範囲を表示できるようになりました。

ツリー [検査]-[穴]-[検査しきい値範囲表示]



しきい値： 1.5mm



しきい値： 2.5mm



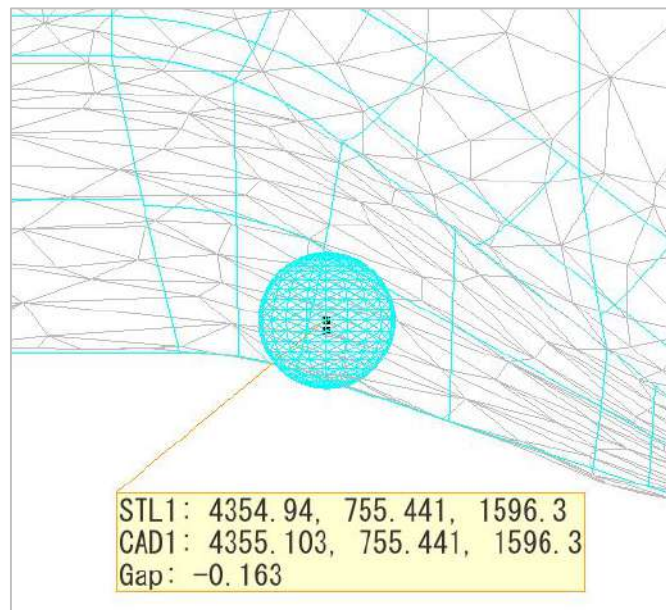
2. 検査しきい値範囲表示 ポイント検査

ポイント検査のしきい値範囲を表示できるようになりました。

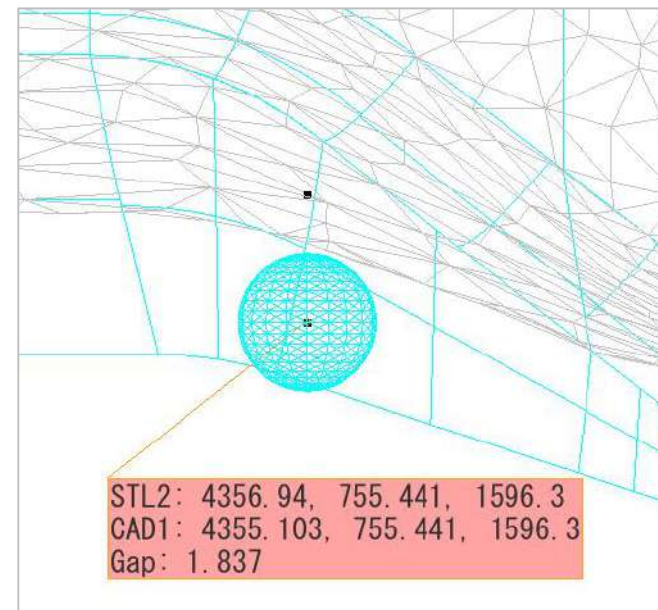
ツリー [検査]-[ポイント]-[検査しきい値範囲表示]



しきい値内 (OK)



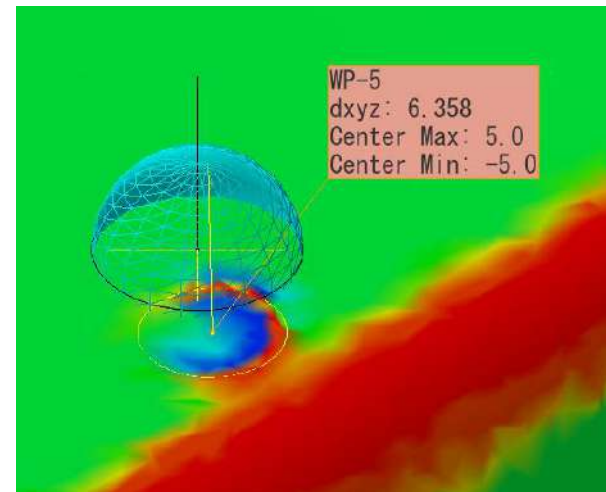
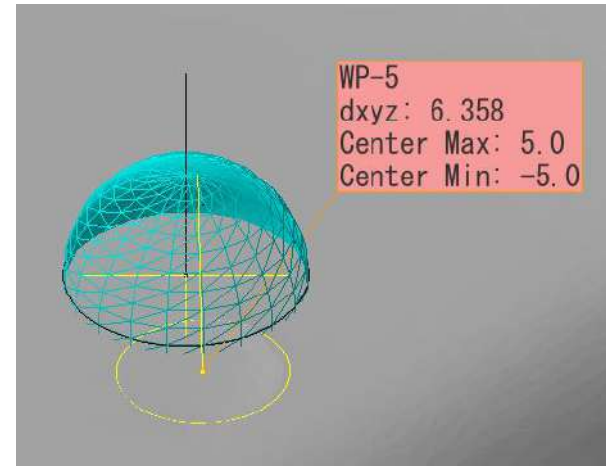
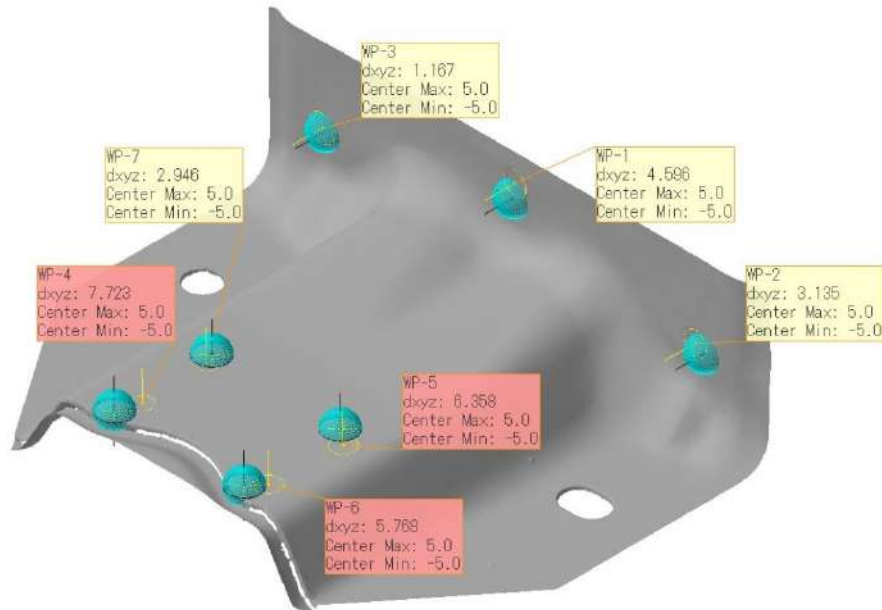
しきい値外 (NG)



2. 検査しきい値範囲表示 溶接打点

溶接打点検査のしきい値範囲を表示できるようになりました。

ツリー [検査]-[溶接打点]-[検査しきい値範囲表示]



3. マクロ-自動 アイコン化

マクロ-自動コマンドをツールバーから、実行できるようになりました。

関連メニュー **[ツール]-[マクロファイル管理]** （ **[ツール]-[マクロ-自動]** ）

2020.1

ダイアログから実行

2021.1

(ツールバー)

選択・実行

マクロファイルを登録

[ツール]-[マクロ自動] 保存時に
自動で登録も可能

4. リアルタイム誤差表示

マウスカーソル位置の誤差注記をリアルタイムに表示できるようになりました。

関連メニュー **[レポート]-[注記]-[追加]**

システム設定

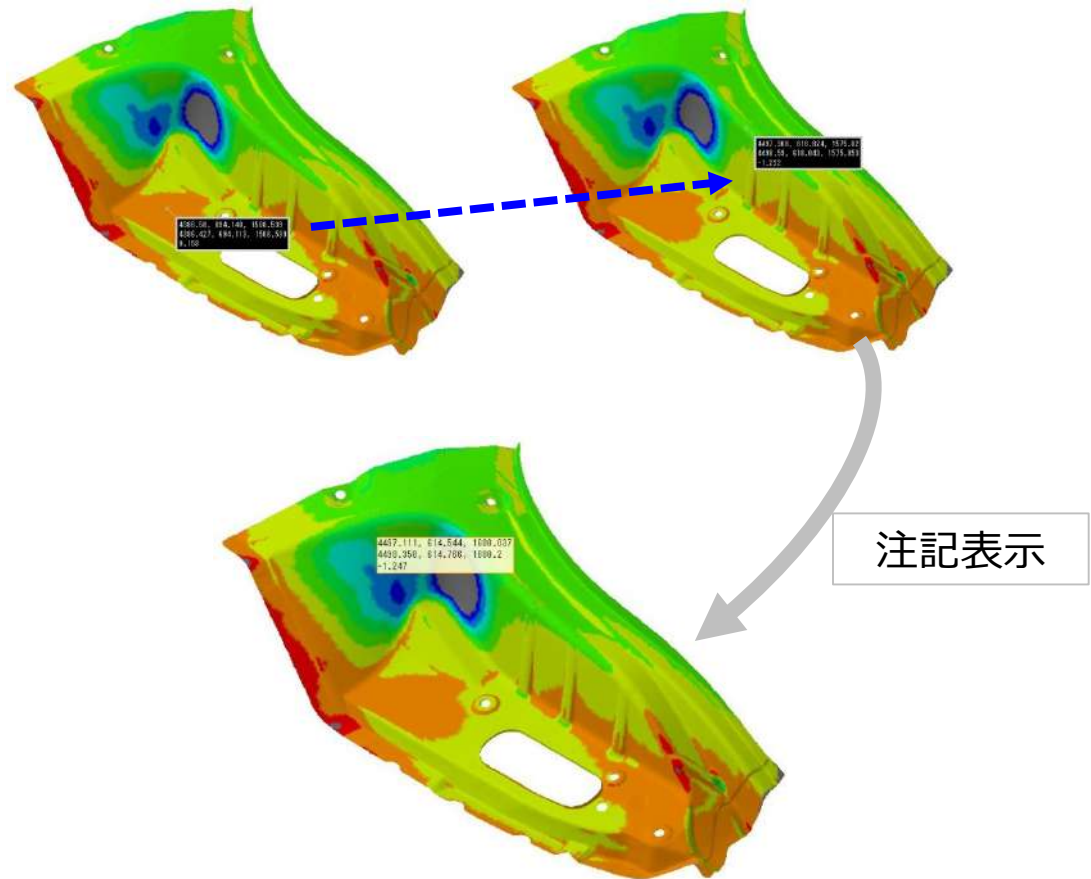
注記内容

- 点
- エリア
- 板止まり
- R稜線
- 稜線
- 検査ポイント
- 断面

注記のプレビューをリアルタイムに表示する

簡易表示

作成する注記と同じ内容を表示



5. ポイント検査 最大最小注記表示

ポイント検査で、表示されている誤差注記の中で最大誤差/最小誤差の注記の背景色を変更し確認できるようになりました。

関連メニュー **[検査]-[ポイント]-[設定&検査]**

システム設定

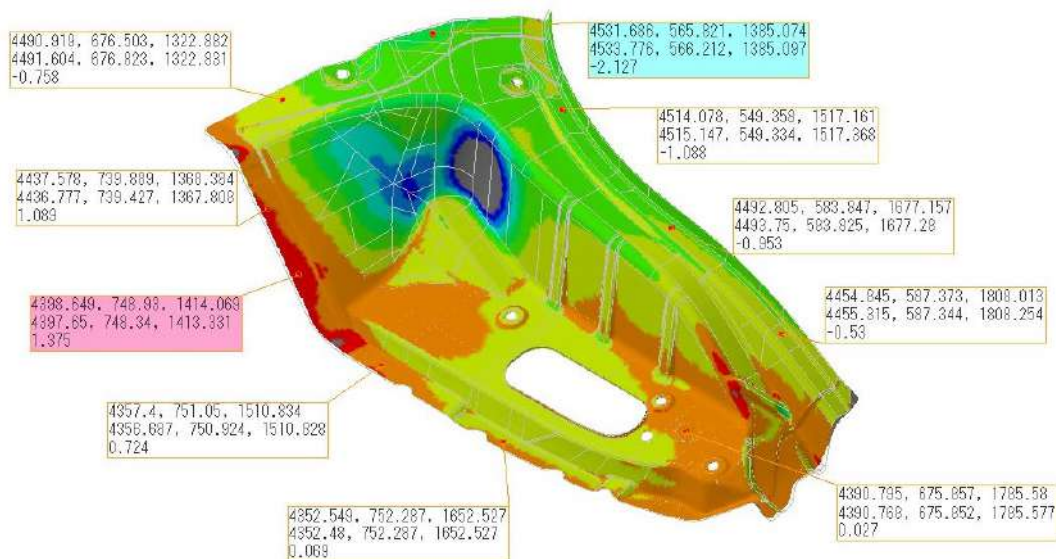
注記内容

- 点
- エリア
- 板止まり
- R稜線
- 稜線
- 検査ポイント
- 断面
- 3D断面

最大最小注記色変更

[赤色] 誤差最大

[青色] 誤差最小



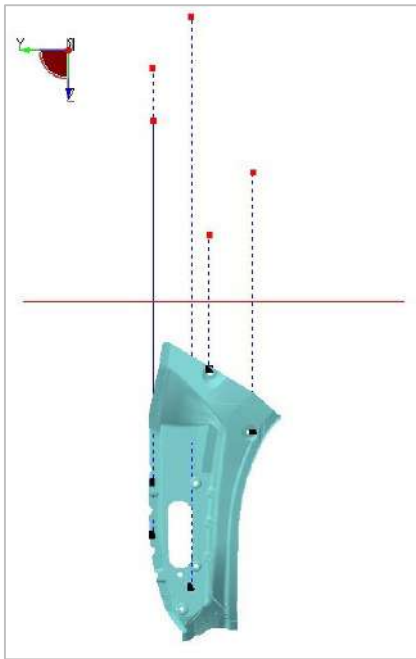
6. ポイント検査 ミラー

定義済みの検査ポイントを、ミラーコピーできるようにしました。

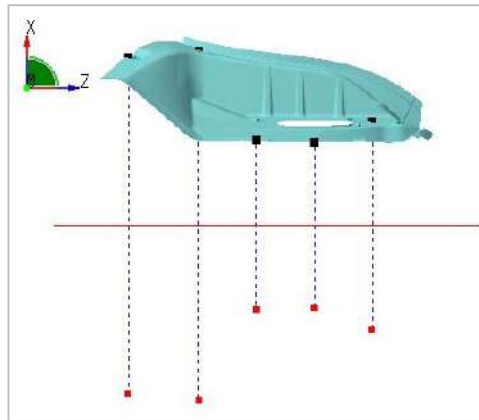
関連メニュー **[検査]-[ポイント]-[ミラー]**

ツリー **[検査]-[ポイント]-[ミラー]** , **[検査]-[ポイント]-[検査オブジェクト]-[ミラー]**

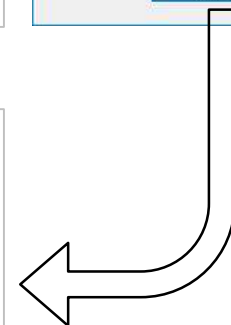
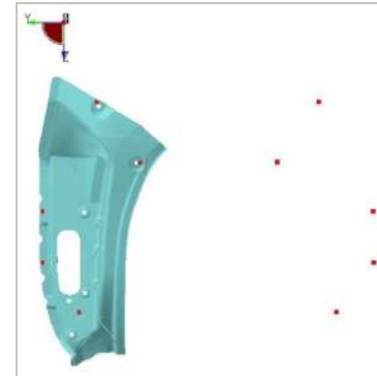
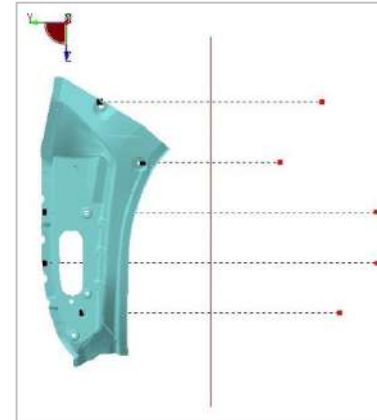
Z方向



X方向



Y方向

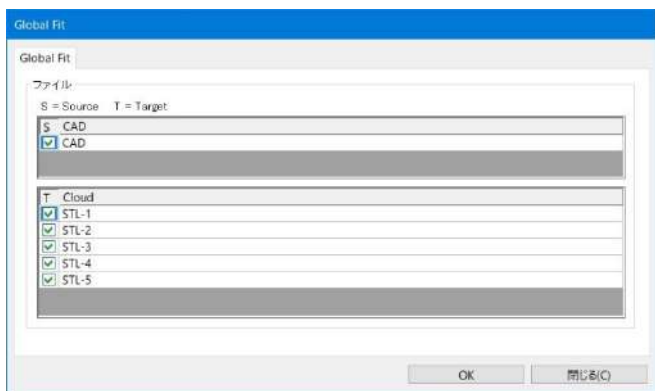


7. グローバルフィットの拡張

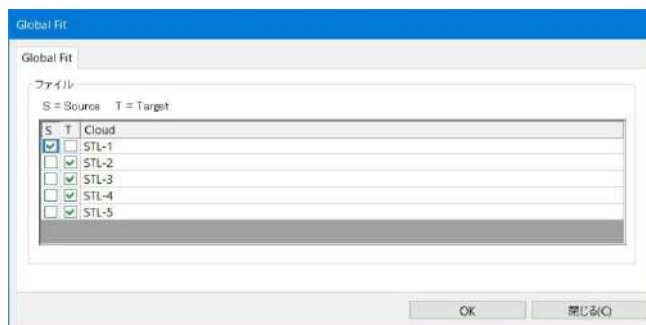
複数の点群オブジェクトを、一括でグローバルフィットできるようにしました。

関連メニュー **[位置合わせ]-[座標系位置合わせ]-[グローバルフィット]**
[位置合わせ]-[座標系位置合わせ]-[グローバルフィット 点群-点群]
[ツール]-[マクロ-自動]、[ツール]-[マクロ-自動 (N数)]、[検査]-[自動検査]のグローバルフィット

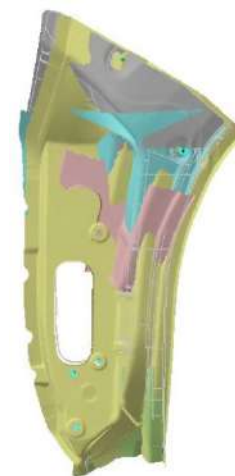
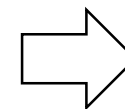
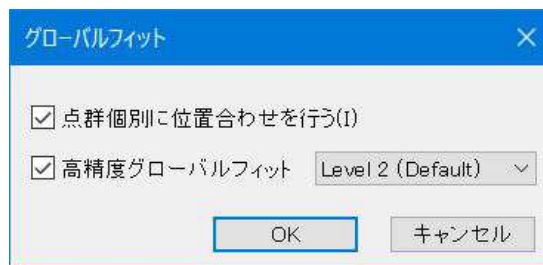
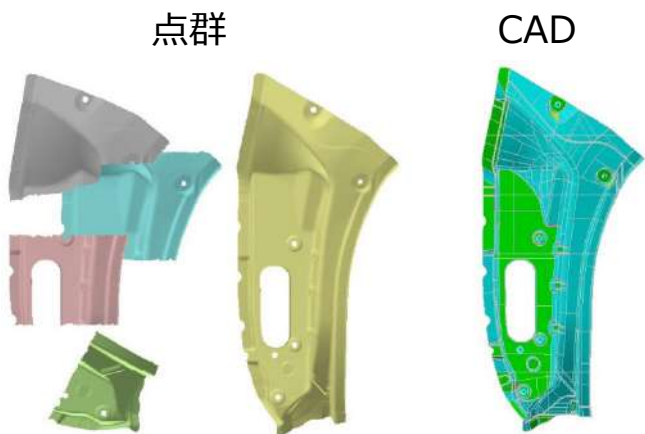
CAD - 点群



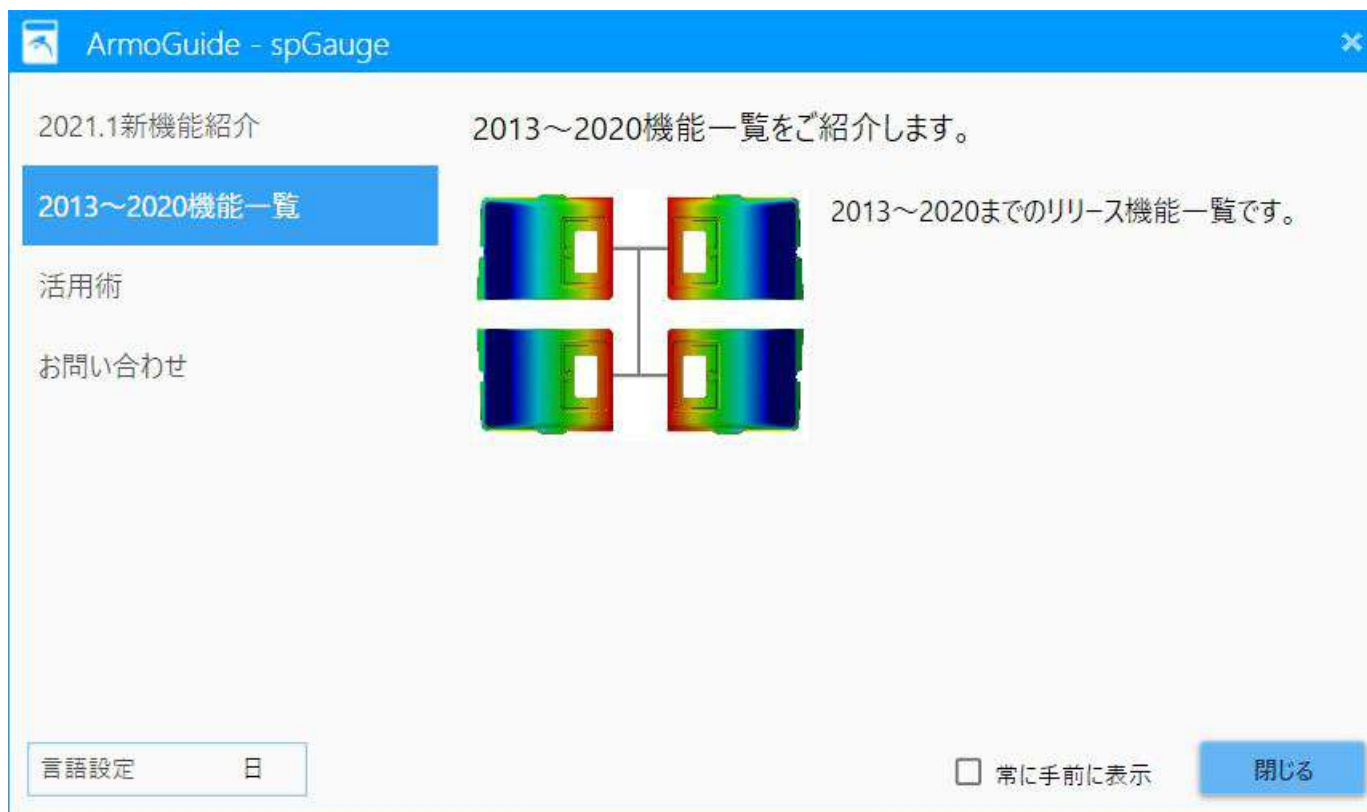
点群 - 点群



グローバルフィット実行後



spGaugeの最新機能やバージョン別機能一覧・活用術などの情報を閲覧できる機能を搭載しました。



✓ 統合位置合わせ

詳細位置合わせの登録時、CAD面のハイライト表示レスポンスを向上しました。
"平面","軸","点群"などリストの登録/削除のレスポンスを向上しました。

✓ [編集]-[削除]

[編集]-[削除]のCAD面のハイライト表示レスポンスを向上しました。

✓ [検査]-[歪み評価]の処理時間

間引き時間を短縮しました。
歪み評価処理時間を短縮しました。

✓ Windows10 (2004)

Windows10 (2004)で、フリーズする現象を改善しました。

✓ Viewer Light 出力

点群のデータによっては出力できない不具合を改善しました。

✓ 図形ツール

[円(2点 + 半径)] が作成されない不具合を改善しました。

✓ CADインポート

IGESのデータによってはインポート時間が遅くなる現象を改善しました。

✓ 板止まり検査

[板止まり]-[定義] で複数定義した場合、検査で<開始位置>-<第一要素の任意点> が有効になる不具合を改善しました。

✓ マクロ自動

[マクロ自動] で、ポイント検査のベース検索範囲の設定が効かない不具合を改善しました。

その他の機能改良・詳細は、下記総販売代理店、またはアルモニコスへお問い合わせください。

総販売代理店：東京貿易テクノシステム株式会社 TEL. 03-6841-8604

開発元：株式会社アルモニコス TEL. 053-459-1000

- 本製品および本書の著作権は、株式会社アルモニコスにあります。
- 本製品および本書は、本製品のソフトウェアライセンス契約に基づき、登録者の管理下でのみ使用することができます。
- 本製品および本書の一部または全部を、株式会社アルモニコスの承諾無く、無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本製品の仕様および本書に記載された内容は予告なく変更することがあります。
- 本製品および本書に記載されている会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 輸出関連法規の遵守：本製品および関連する情報、技術、資料、またはこれらを使用して作成される物資または役務を、
- 以下の用途に使用しないでください。
 1. 日本国内から、核兵器、生物兵器、化学兵器及びミサイル（以下「大量破壊兵器」という。）の開発、製造、使用若しくは貯蔵（以下「開発等」という。）又はその他の軍事用途を目的とする者へ輸出（外国への持ち出し、商社等を通じた間接輸出、国内における非居住者への開示を含む。）すること。
 2. 日本国外において、大量破壊兵器の開発等又はその他の軍事用途に自ら用いること、又はそのような用途を目的とする者へ再提供すること。